

丁寧な暮らしをつくる
上質な新潟の木の家 実例集



意匠と性能の両立、これからのスタンダード
鳥屋野南モデルハウス
(2022年竣工)

concept

2005年に竣工した竹尾モデルハウスの解体にともない、場所を移転して新たに新築したモデルハウス。敷地は新潟市中央区鳥屋野南に位置し、利便性も良く通称「陽街(はるまち)」と呼ばれる人気のエリアである。

建築家・泉幸甫氏監修のもと、屋内と屋外のつながりを意識した設計で、意匠面・性能面にもこだわった。

1階は床にオーク材を採用し、モダンな雰囲気。2階は漆喰と杉をメインにした「ザ・ノモトホームズ」に仕上げている。南側と西側に道路があるため視認性が良く、モデルハウスとしての佇まいや見え方、周辺の街並みを害さない謙虚な建ち方を考えながら、外観のプロポーションや全体のボリュームを検討する必要があった。これまでの設計思想はそのままに、これからの時代のスタンダードとなるようなモデルハウスになった。

構造材には新潟県産材である山北杉をメインに使用し、耐震等級は最高等級の等級3、外皮性能はUA値=0.34、C値=0.2である。

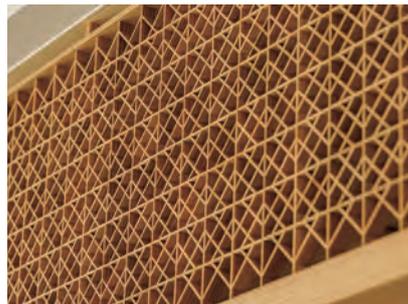
建築DATA

延床面積: 124.89㎡
(37.77坪)

1階: 73.77㎡

2階: 51.12㎡





スタイリッシュな中にも、職人の手仕事でつくる細かな装飾や仕上げが見どころとなっている。木のぬくもりを大切にし、経年変化を楽しみながら家族とともに成長する、人生をともに歩む家が完成した。夏は2階の小屋裏に設置した小屋裏エアコンで全館冷房を行い、冬は床下エアコンで全館暖房を行う。シーズンを通してエアコン1台で全館空調を行うことが可能である。